

施策番号	1401		
施策名	お互いに認め合い支え合っくらすまちづくり		
概要	すべての市民が障害や障害のある人に対する正しい理解と認識を深め、お互いに個人の尊厳を重んじる市民意識の向上を図るとともに、障害のあるひとが積極的に社会参加するための社会環境づくりや、情報発信・相談支援の強化を進める。		
担当局・部室	保健福祉局・障害保健福祉推進室	共管局・部室	
上位政策	14 障害者福祉		
施策に関する主な分野別計画等	支えあうまち・京都ほほえみプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1 移動支援の利用時間数(時間)	c	c	43,790	45,405	54,305	83.6%	c	1.00	
2 手話通訳等登録者数(人)	a	a	376	337	364	92.6%	b	1.00	
3 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)契約件数(件)	a	a	608	718	608	118.1%	a	1.00	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも書えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 障害への理解が進み、障害のあるひともないひと、認め合い、支え合っくらすまちになっている。	21 4.1%	134 26.2%	223 43.6%	87 17.0%	46 9.0%	511	c	
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
		市民生活実感調査総合評価						c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					26年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 障害のあるひとに対する日常生活やコミュニケーションの支援などの取組は、対象が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						25年度	B
(原因分析) 【客観指標】●移動支援の利用時間数については、年々増加傾向にあるものの、視覚障害ガイドヘルパーについては、平成23年10月の法改正により、国制度(同行援護)の開始に伴い、これまで移動支援を利用されていた方が、同行援護へ移行することとなったため、大幅な伸びがみられず、3年連続c評価となった。 ●手話通訳等登録者数については、通訳者の高齢化や体調不良等による休止や登録抹消により、a→b評価となった。 ●日常生活自立支援事業については、障害のあるひとに対する情報・コミュニケーション支援や権利擁護施策への需要が増加し、利用者も年々増加してきている状況であり、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】障害のある人に対する正しい知識と認識を十分に深められていないことから、昨年度に引き続きc評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		26年度決算額	27年度予算額		
1	障害者スポーツ振興事業	57,129	57,288	良い	保健福祉局
2	障害者社会参加促進事業	141,398	141,921	普通	保健福祉局
3	障害者権利擁護推進事業	19,796	20,819	かなり良い	保健福祉局
4	障害者相談員設置	13,836	14,488	かなり良い	保健福祉局
5	福祉乗車証交付事業	1,557,475	1,474,775	-	保健福祉局
6	障害者情報バリアフリー化支援事業	2,586	2,288	良い	保健福祉局
7	身体障害者デイサービスセンター運営補助	57,407	46,913	良い	保健福祉局
8	こころのふれあい交流サロン	49,015	49,940	良い	保健福祉局
9	障害者虐待防止対策事業	5,538	6,254	かなり良い	保健福祉局
10	命の大切さと生きる勇氣・力を取り戻すための支援の充実	20,706	23,414	良い	保健福祉局
11	ほほえみ交流活動支援事業	11,161	11,993	良い	保健福祉局
12	障害者差別解消法周知啓発事業	-	7,901	-	保健福祉局
13	こころの健康増進センター管理運営	608,024	616,965	良い	保健福祉局
14	京都市障害者教養文化・体育会館運営	28,049	28,049	-	保健福祉局
15	障害者スポーツセンター	214,818	214,818	-	保健福祉局
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 障害のある人に対する福祉サービスや社会参加のための環境整備は着実に拡充している状況にあるが、市民や障害者団体等と協働し、平成25年3月に策定した「支えあうまち・京都ほほえみプラン(京都市障害者施策推進計画)」に基づき、引き続き障害や障害のあるひとに対する正しい理解と認識を深める取組を進めていく。
- 特に、「移動支援事業」については、目標値を下回ったものの利用時間数は年々増加傾向にあることから、今後、更なる取組の強化に努める。
- 手話通訳者の派遣依頼は増加傾向にあるが、活動できる手話通訳者が減少しているため、養成事業等の取組を進め、人員の確保に努める。

施策名	1401	お互いに認め合い支え合っくらすまちづくり
-----	------	----------------------

指標名	移動支援の利用時間数（時間）
-----	----------------

担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	222-4161
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

屋外での移動が困難な障害のある方を対象に、社会生活及び社会参加を目的として実施している移動支援事業（ガイドヘルパーの派遣）の一月当たりの利用時間数

2 指標の意味

障害がある方の外出の機会を促進し、社会参加しやすい環境づくりの進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：年間延べ利用時間数÷12月
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	25年度	26年度		数値	根拠	
数値	43,790	45,405	1,615時間増	54,305	平成21年度現況値（42,980）を基に、今後の各年度推計利用者数の伸び率を乗じて算出	83.6%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

目標値に対する達成度が100%以上をa，以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

25	26	27
C	C	C

指標名	手話通訳等登録者数（人）
-----	--------------

担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	222-4161
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

手話通訳者・要約筆記者の派遣登録者及び点訳・音訳奉仕員の登録者数

2 指標の意味

障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた情報・コミュニケーション支援の進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：各登録者全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	25年度	26年度		数値	根拠	
数値	376	337	39人減	364	過去3年間の登録者数の平均伸び率から算出した必要登録者数	92.6%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

当該指標については、毎年度登録人員に増減があるため、100%以上をa，以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

25	26	27
a	a	b

施策名	1401	お互いに認め合い支え合っくらすまちづくり										
指標名	日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）契約件数(件)											
担当課	地域福祉課	連絡先	251-1175									
1 指標の説明												
認知症高齢者、知的障害者や精神障害のあるひとなど、判断力が不十分なために福祉サービスを十分に利用できないひとなどを援助する日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の契約件数												
2 指標の意味			3 算出方法・出典等									
判断力が不十分な方に対する地域福祉サービスの充実度を示す指標			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ									
4 数値												
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移	目標値								
	608	718		数値	根拠	達成度						
数値	608	718	110件増	608	過去最高値	118.1%						
	全国順位	中長期目標			備考							
		数値	目標年次	達成度		根拠						
数値												
5 評価基準		6 基準説明			7 評価結果							
最新数値が a：過去最高値以上 b：過去最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満		当該指標については民間部門の寄与度が高いことから、過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：608件（平成25年度） 平均値：506件 最低値：406件（平成21年度）			<table border="1"> <tr> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>a</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </table>		25	26	27	a	a	a
25	26	27										
a	a	a										